



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

部会活動の紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では様々な事業を活発に行っております。また、2026年には部会設立50周年を迎えます。本稿では、部会事業のうち、セミナーや学術会議等、参加型の事業について紹介します。

セミナー等

当部会では、事業企画委員会や企業委員会、支部、分科会が主体となり様々なセミナー等が定期的に開催されています。

- ・「界面コロイドラーニング」(事業企画委員会)：コロイド界面化学分野の知識を必要とされている方々のための集中講義です。例年、東京会場、大阪会場で開催されています。
- ・「コロイド界面技術シンポジウム」(事業企画委員会)：基礎研究や先端技術を学び商品開発等に役立てられるように企画されています。
- ・「コロイド先端技術講座」(事業企画委員会)：コロイド界面化学研究の最先端を学びます。
- ・「コロイド・界面技術者フォーラム」(企業委員会)：企業研究者における最新技術とアカデミア講師による基礎理論を学ぶことができます。
- ・「分散凝集科学技術講座」(コロイド分散凝集分科会)：分散・凝集に関連す

る基礎と応用、具体的な解析方法やトラブルシューティングの技術などを学びます。

その他、「関西界面科学セミナー」(関西支部)、「関西コロイド・界面実践講座」(関西支部)、「九州コロイドコロキウム」(九州支部)なども実施されています。

コロイドおよび界面化学討論会

第76回コロイドおよび界面化学討論会は、2025年9月22日(月)～25日(木)に、千葉大学西千葉キャンパスで開催されます。例年、400件を超える発表と600～700人ほどの方にご参加いただいている会議です。本年度も例年どおり、総合講演、受賞講演(Lectureship Award受賞講演、科学・技術奨励賞受賞講演)、一般研究発表(口頭およびポスター)、一般シンポジウム、国際シンポジウム、キャリア探セッション、若手セミナー等を予定しています。本年度のLectureship Award受賞者は、オーストラリア・シドニー大学のGregory Goodman Warr教授とドイツ・ダルムシュタット工科大学のRegine von Klitzing教授です。また、科学奨励賞受賞者は山形大学の吉田一也准教授、技術奨励賞受賞者は株式会社資生堂の福原隆志氏です。また、一般研究発表は、①界面活性剤と両親媒性物質、②分子膜、③ソフトマターとバイオシステム、④微粒子・ナノ粒子・ナノマテリアル、⑤分

散・凝集、⑥固体表面と濡れ・吸着・接着のセッションに分かれて実施予定です。また、部会設立50周年を記念した小イベントも計画しております。なお、期間最終日の9月25日(木)は、国際シンポジウムのみを開催する予定です。

Okinawa Colloids 2026

部会設立50周年を記念して、国際会議「Okinawa Colloids 2026」を、2026年11月1日(日)～6日(金)に、沖縄県名護市の万国津梁館で開催する予定です。2019年11月に同施設で開催したOkinawa Colloids 2019では、33カ国から1020余名の参加者(うち24%が海外からの参加者)でした。今回も盛会とすべく計画が進められております。なお、2026年度には、この国際会議がありますので、コロイドおよび界面化学討論会は開催しません。

おわりに

以上、本部会のセミナーや学術会議等を紹介しました。開催日時や内容に関する詳細については、本誌や部会ホームページ、部会ニュースレターC&I Commun、メーリングリスト等を通じてご案内いたしますので、それらをご覧ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

〔部会長 飯村兼一(宇都宮大学)〕

© 2025 The Chemical Society of Japan